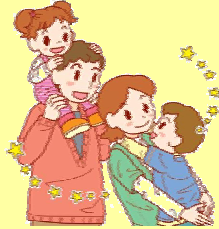


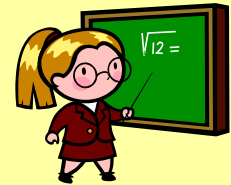
発達の気になるこどもの 家庭療育支援講座 第2回



子どものこころの診療拠点病院推進室 ペアレントサポート研究会 陽なた

本日のメニュー

- 学習会「観察上手になろう」
- お茶タイム
- グループワーク「サポートブックを作ろう」
- 次回のお知らせ



観察上手になろう

「どうしてこんなことをするのか？」
を読み解く

してほしいこともいろいろ

- トイレに一人で行けるようになってほしい
- ごはんを残さずに食べてほしい
- お友達と遊べるようになってほしい
- 着替えが一人でできるようになってほしい

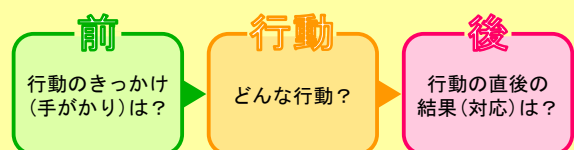
などなど

どうやって教えたらいいの？

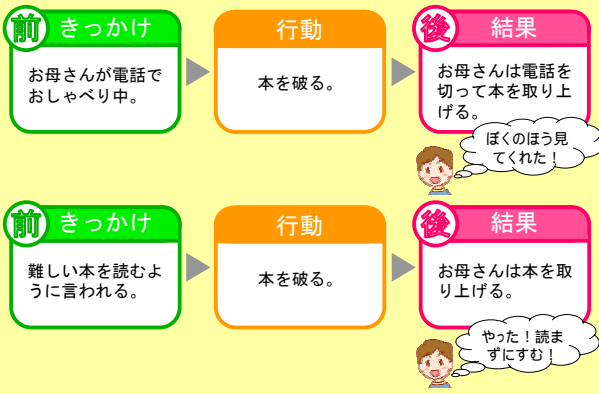
- まずは日常のさまざまな行動がどのように起きているのかについて知ることが必要
- 行動の仕組みを知るには…
行動の3分割

ポイントは3分割

子どもの行動を見て「なぜ？」「どうして？」と思ったら、次の3点に注目してみる。



3分割してみると・・・



行動を3分割してみよう

3分割するメリット

- ① 行動を共通理解しやすくなる。
- ② 行動が起こる場面を予測しやすくなる。
- ③ 今どんな対応をしているかが明らかになる。
- ④ よい行動を増やしたり、困った行動を減らすための対応を考える手がかりになる。

3分割を使って観察すると、行動の意味が見えてきやすくなる。

3分割してみよう①

なっちゃんはパジャマに着替えるときに、1人でズボンをはくことができました。するとお母さんが抱っこをしてほめてくれました。

行動の前と後にあたる文章を抜き出します。



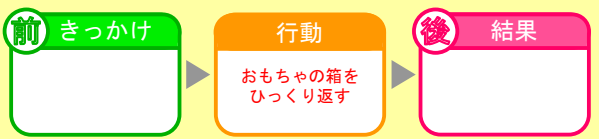
3分割してみよう①

なっちゃんはパジャマに着替えるときに、1人でズボンをはくことができました。するとお母さんが抱っこをしてほめてくれました。



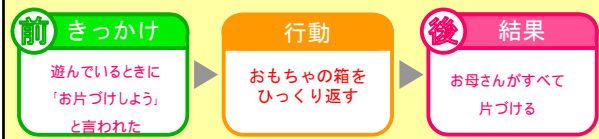
3分割してみよう②

はる君が遊んでいるときに、お母さんが「お片づけしよう」と言いました。はる君はおもちゃの箱をひっくりかえしました。お母さんは「そんなことしたらだめですよ。」と怒りながら、すべてお母さんが片づけました。



3分割してみよう②

はる君が遊んでいるときに、お母さんが「お片づけしよう」と言いました。はる君はおもちゃの箱をひっくりかえしました。お母さんは「そんなことしたらだめですよ。」と怒りながら、すべてお母さんが片づけました。



行動の理解

- ・ 行動はそれだけが突然起こるのではない
- ・ 子どもの行動の前にある「きっかけ」や行動のあとにある「結果」を見ると、行動が理解しやすくなる。



行動は具体的に① 前▶行動▶後

気になる行動はどんな行動？
まずは具体的な言葉を使ってその行動を説明することから…

行動を具体的にするメリット

- ① 行動の前後(きっかけと結果)に目を向けやすくなる。
- ② 子どもにかかわる人の間で共通認識できる。
- ③ 子どもにその行動を教えやすくなる。

行動は具体的に② 前▶行動▶後

行動を具体的にするときのコツ

- ① 誰でも正確にイメージできるように。
 - × パニックになる。
 - 大声をあげて走りまわる。
- ② 「～しない」だけでなく、その時、子どもがどうしているかわかるように。
 - × 言うことを聞かない。
 - 言うことを聞かないで、テレビを見る。

行動は具体的に③ 前▶行動▶後

あいまい語にご注意！

普段よく使う「きちんと」「ちゃんと」「しっかり」などの言葉は要注意！！

例) おふろで きちんと 体を洗う
お手伝いで きちんと タオルをたたむ

これらは達成の基準があいまい、文脈によってすべきことが変化するなどの理由から、その場で何を求められているのかを共通理解しにくい言葉。

練習：具体的にしてみよう

具体的な言葉を使って言い換えるとどうなる？

- ① 交通ルールに違反する。
- ② 歯みがきをいいかげんにする。
- ③ ちゃんと朝起きられない。

誰でも子どもの様子をイメージできる表現にしてみましょう。



答え 具体的にしてみよう

- ① 交通ルールに違反する。
回答例：赤信号でも無視して渡る。
- ② 歯みがきをいいかげんにする。
回答例：歯ブラシを15秒ほど口に入れるだけですぐにやめてしまう。
- ③ ちゃんと朝起きられない。
回答例：8時半になっても起きられず、布団の中にいる。
どんな場面や子どもを想定するかによって、このほかにもいろいろな答えが考えられます。

きっかけを探そう 前▶行動▶後

気になる行動はどんなきっかけでおこるのか？
行動の前の状況を、注意深く見てみよう。

行動の「前」に注目するメリット

- ① 行動が起こることを予測しやすくなる。
- ② その行動を起こさなくてすむように、事前の準備ができる。

結果を探そう① 前▶行動▶後

気になる行動をした結果、子どもにどんなことが
起こっているのか？
行動の後の子どもの様子や周囲の状況に注目する。

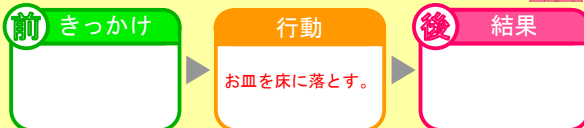
行動の「後」に注目するメリット

- ① 子どもが本当はどんなことを望んでいるかを知ることができる。
- ② その行動を起こさなくてすむように、事前の準備ができる。

練習：3分割してみよう③

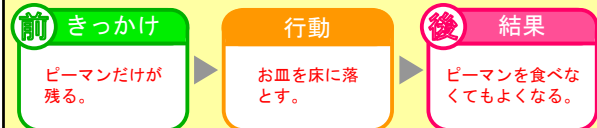
りく君はピーマンが苦手で、先にほかのごはんを食べます。最後ピーマンだけになったときに、りく君はお皿を床に落としました。お母さんはピーマンを片付けます。

行動の前と後にあたる文章を抜き出します。



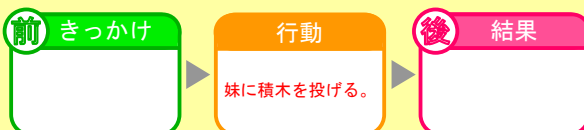
答え：3分割してみよう③

りく君はピーマンが苦手で、先にほかのごはんを食べます。最後ピーマンだけになったときに、りく君はお皿を床に落としました。お母さんはピーマンを片付けます。



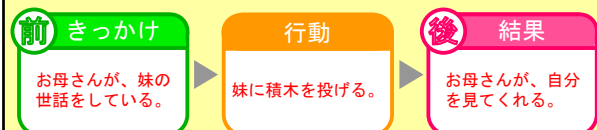
練習：3分割してみよう④

お母さんが妹のおムツを替えているとき、こうじ君が積木を妹の方に投げ始めました。お母さんは「こら!やめなさい!」と言いました。こうじ君はにこにこして笑っています。危ないからと注意してもなかなかやめられません。



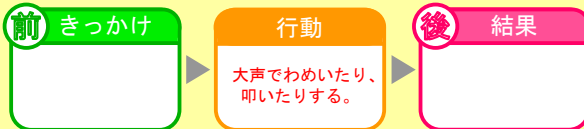
答え：3分割してみよう④

お母さんが妹のおムツを替えているとき、こうじ君が積木を妹の方に投げ始めました。お母さんは「こら!やめなさい!」と言いました。こうじ君はにこにこして笑っています。危ないからと注意してもなかなかやめられません。



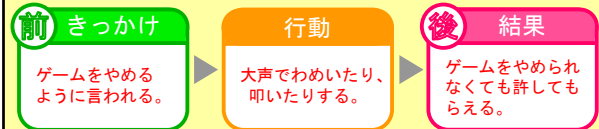
練習： 3分割してみよう⑥

あかねちゃんは家で決められた時間にゲームをやめるように言われると、大声でわめいたり叩いたりします。お母さんも困ってしまって、ゲームをやめることができなくても時々許してしまうことがあります。



答え： 3分割してみよう⑥

あかねちゃんは家で決められた時間にゲームをやめるように言われると、大声でわめいたり叩いたりします。お母さんも困ってしまって、ゲームをやめることができなくても時々許してしまうことがあります。



観察上手のポイント

- ① 行動を具体的な言葉であらわすと、きっかけや結果に注目しやすくなる。
- ② 3分割をして、行動の前後に目を向けることで、かまってサインや時々ラッキーに気づくことができる。
- ③ その行動が起こる状況の共通性を考えることで、きっかけや結果を見つけやすくなる。
- ④ 3分割で行動の前後の状況の変化を知ること、対応の工夫を考えることができる。

グループワーク

サポートブックを
作ってみよう！

次回のお知らせ ホームワーク

次回：7月29日（水）です。

ホームワーク：

サポートブックをご家庭で書けるところまで書いてみてください。次回のグループワークで見せ合しましょう。